

# S.COAT No.2000 H クリヤー

(速乾タイプ 4:1)



## 1. 製品の特徴

(4類第2石油類 荷姿 16L 2000年上市)

- 1) 速乾クリヤーの定番。20年のロングセラークリヤー。
- 2) 短時間の焼付で硬化し、仕上がりが良い。常温硬化での作業も可能。
- 3) 仕上り性と乾燥性のバランスが抜群。磨き性も良好で、作業効率がよい。
- 4) 加熱残分 38.1% VOC 削減率 29.6% (HX クリヤー比)
- 5) 実車塗装実績 200万台。促進耐候性試験合格。

## 2. クリヤー、硬化剤、シンナーの配合量と希釈塗料の可使用時間

混合比率 (重量比率)			希釈塗料の可使用時間 (時間)		
クリヤー	硬化剤	シンナー*	10℃	20℃	30℃
100	25	25～55	2	1	0.5

\*シンナー希釈量は推奨量であり、気温・塗装面積により調整してください。

(注意) 30℃以上の気温では可使用時間が短くなりますので、調合後速やかにご使用願います。

## 3. 乾燥時間

	乾燥温度 (℃)			
	10℃	20℃	30℃	60℃
指 触 乾 燥	10分	7分	5分	—
強制乾燥前セッティング	1～5分	1～5分	3～5分	—
コンパウンド研ぎ可能	8時間	5時間	3時間	15分
屋 外 放 置 可 能	不可	24時間	16時間	20分
ガ ソ リ ン O K	不可	72時間	48時間	60分
再 塗 装 可 能 時 間	—	—	—	60分
完 全 硬 化	—	7日	—	80分

※膜厚、塗装面積、諸条件により乾燥時間は若干変わります。(標準膜厚30～50μ)

## 4. 硬化剤の気温による選択基準 (Hクリヤー単独で1年間通じて使用する場合)

硬化剤名	塗装温度 (℃)			
	5	15	25	35
速 乾	○	△	×	×
標 準	○	○	△	×
遅 乾	△	○	○	△
超 遅 乾	×	△	○	○

※冬場は超速乾や速乾シンナー、春秋は標準シンナー、夏場は遅乾や超遅乾シンナーを使用してください。塗装回数は2.5～3.5回。ボカシ塗装は残りのクリヤーに1回目シンナーを30～50%、2回目さらにシンナーを50%添加し2段ボカシで行う。

※塗装の動画をYouTubeで公開しています。

## 5. 冬場は作業性を夏場は仕上がり性を希望される場合 (Tクリヤーとの併用)

製品名	適正温度範囲 (℃)			備 考	
	硬化剤速乾	硬化剤標準	硬化剤遅乾		
冬	H	5～15	10～15	—	5℃以下では硬化促進剤の利用も検討下さい。
春・秋	H/T	—	15～25	—	H/Tの併用あるいは混合で使用下さい。
夏	T	—	20～30	25～40	夏場は遅いシンナーを利用下さい。

※HとTクリヤーの併用あるいはブレンド(混合)で季節に合わせた使用方法を行ってください。

※高級車にはFTⅢ等のクリヤーの併用もおすすめします。